



RPCA

# RPCA 製品審査基準 適合証明書

証明書番号 I 2 3 - W U 1 2 9 号

桜コンクリート株式会社 殿

貴社の「PU側溝」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりRPCA製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート製品技術協会

会 長

棚橋



記

## 1. 基本事項

製品名：PU側溝

製品区分：I群製品

U形側溝（深溝型）

証明書有効期間：2024年4月1日～2027年3月31日



## 2.申請区分

品種区分		申請区分	
製品区分	I 群	重要度	重要度1
大分類	水路工	要求性能;常時	性能1
中分類	U形側溝	規格の範囲	縦断用, 縦断用蓋, 横断用, 柵, グレーチング
小分類	深溝型(B≤600mm)&(600mm≤H≤1500mm)	設置環境・条件	一般環境
申請区分	製 I-水側U-2		

## 3.製品審査結果

審査項目及び審査基準				判定	摘要条件
中項目	小項目		審査基準		
荷重	自重	単位体積重量	埋戻し土	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重	clear
			鉄筋コンクリート	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重	clear
			自重の考え方	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重	clear
	土圧	主働土圧	土圧式	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重	clear
			活荷重	直載荷重(本体、蓋版)	縦断時
	乗入れ横断時	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重			clear
	近接荷重(本体)	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [12]～[14] 4.2設計に用いる荷重		clear	
	荷重の組合せ	本体	直載時(縦断、乗入れ横断)	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ)	clear
			近接時	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ)	clear
		蓋版	直載時	「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (4) 検討ケースおよび荷重組合せ)	clear
材料及び設計諸定数	コンクリート	設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること。	clear	
	鋼材		JIS A 5364に規定されるものであること。 JIS以外は、SD295、SD345同等以上の性能であること。	clear	
許容応力度	コンクリートの許容曲げ圧縮応力度		「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度)	clear	
	コンクリートの許容せん断応力度		「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度)	clear	
	鉄筋の許容応力度		「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (6) 許容応力度)	clear	
部材の安全性の 照査	解析方法		許容応力度法によること。	clear	
	構造耐力	底版端部(縦断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		底版中央(縦断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		側壁付根(縦断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		底版端部(横断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		底版中央(横断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		側壁付根(横断)	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		蓋版	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		グレーチング	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		柵	曲げ応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
			せん断応力度	発生応力が許容応力度以下であること。(「道路PCa工指針」第6編 水路工 [21]～[31] 参考計算例 (RPCA U型側溝 推奨計算方法 (5) 部材)	clear
		側壁	たわみ(変形)量	側壁本体と蓋のクリアランスの1/2または、2mmのいずれか小さいほうとすること。	clear
			耐久性	鉄筋のかぶり	12mm以上または8mm以上であること。

## 3.製品審査結果

審査項目及び審査基準			判定	摘要条件
中項目	小項目	審査基準		
その他の仕様	基礎材	使用材料	再生砕石(RC-40)を標準とする。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工編 [3]～[7] 2.1道路Pca水路の種類	clear
		厚さ	再生砕石(RC-40)を標準とする。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工編 [3]～[7] 2.1道路Pca水路の種類	clear
	躯体同士の接合	接合仕様	目地工の処理方法が規定されていること。	clear
施工	施工マニュアル	施工の手順	施工マニュアル等に記述があること。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工 [18]～[20] 第6章 U形側溝 7.3 施工方法及施工上の留意点	clear
		施工上の留意点	施工マニュアル等に記述があること。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工 [18]～[20] 第6章 U形側溝 7.3 施工方法及施工上の留意点	clear
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 第3編 製造編 [20]～[23] 第3章 検査	clear
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 第3編 製造編 [20]～[23] 第3章 検査	clear
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質毎に定めた項目についての記述があること。 〔道路PCa工指針〕第6編 水路工編 [17] 第6章 U形側溝 7.2.1 受渡検査 第3編 製造編 [20]～[23] 第3章 検査	clear
	構造耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、製品の品質に定めた項目についての記述があること。 載荷試験により構造耐力の確認が実施されていること。	clear
材料の品質	品質	使用する材料の品質	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。〔道路PCa工指針〕第3編 製造編 [5]～[10] 2.1製造 2.3 材料の受入と貯蔵	clear
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。〔道路PCa工指針〕第3編 製造編 [5]～[10] 2.1製造 2.3 材料の受入と貯蔵	clear
	貯蔵	貯蔵の管理方法	製造仕様書に、使用する全材料を対象に、材料の品質毎に定めた項目についての記述があること。〔道路PCa工指針〕第3編 製造編 [5]～[10] 2.1製造 2.3 材料の受入と貯蔵	clear

 審査委員会  
委員長

宮川 豊

